

令和2年度 秦野市特定健康診査「検査項目の説明」

特定健診は、メタボリックシンドロームを早期に発見し、生活習慣病を予防することを目的とした健康診断です。

受診医療機関から「秦野市特定健康診査表」の写しが返却されましたら、以下をご参照ください。

※検査の「基準値」は、医療機関や測定方法により多少異なります。

検査項目	基準値	検査の説明など
BMI	18.5～24.9	体格指数をあらわし、体重(kg)÷身長(m)÷身長(m)の計算で出します。低いとやせすぎ、高いと肥満とされています。
腹囲(cm)	男性:85未満 女性:90未満	体脂肪には皮下脂肪と内臓脂肪があり、内臓脂肪型肥満の判断基準になります。
血圧 収縮期(mmHg)	129以下	動脈にかかる圧で、高血圧は動脈硬化を進行させます。 収縮期(最高)血圧:血液が心臓から全身へ送り出される時
血圧 拡張期(mmHg)	84以下	拡張期(最低)血圧:血液が全身から心臓へ戻される時 収縮期血圧100mmHg以下を低血圧といいます。
中性脂肪(mg/dl)	149以下	体内にある脂肪の一種で身体のエネルギー源です。多いと肥満や脂肪肝の原因となり、動脈硬化を進めます。
HDLコレステロール(mg/dl)	40以上	別名「善玉コレステロール」。 血管の内側に付着したコレステロールを肝臓に運んで動脈硬化を予防します。
LDLコレステロール(mg/dl)	119以下	別名「悪玉コレステロール」。 血液中に多すぎると血管に蓄積され、動脈硬化を進行させます。 心筋梗塞や脳梗塞の原因となります。
GOT[AST](U/l)	30以下	GOT・GPTは肝臓や心筋などにある酵素です。 これらの臓器が悪くなると増加します。
GPT[ALT](U/l)	30以下	
γ-GT[γ-GTP](U/l)	50以下	肝臓や胆道などに異常があると高値になります。 アルコール性や薬物性の肝障害では特に上昇します。
空腹時・随時血糖(mg/dl)	99以下	血液中のブドウ糖のことを血糖といい、膵臓から出るインスリンというホルモンによって濃度が保たれています。糖尿病になると値は高くなります。 食事の影響によって変動します。
HbA1c(%)(NGSP値)	5.5以下	赤血球中のヘモグロビンと血液中のブドウ糖が結合したものです。 過去1～2か月間の血糖の状態が分かります。 食事、運動、ストレスの影響をほとんど受けません。
eGFR(ml/分/1.73m ²)	61以上	腎機能低下発見の手掛かりになります。
血清尿酸(mg/dl)	7.0以下	新陳代謝によって生じる老廃物です。 腎臓からうまく排泄されなかったり、プリン体を含む食品をとりすぎたりすると、数値が高くなり痛風や腎結石の原因になります。
尿潜血	(-)	腎臓・尿管・膀胱・尿道などの障害を見つけます。 異常がなくても反応することがあります。
尿糖	(-)	糖尿病発見の手がかりになりますが、尿糖が陽性でもすべてが糖尿病ではありません。
尿蛋白	(-)	腎臓や尿路系の異常で陽性となります。 異常がなくても激しい運動等で反応することもあります。

～がん検診も受けましょう～（がん検診は事前登録した人を対象に実施しています。）

がんの約6割は、生活習慣の見直しによって予防が可能です。

しかし、どんなに規則正しい生活を送ってもがんになる可能性は残ります。

がんを早期に見つけるために、「がん検診」も受けましょう。

現在、令和3年度のがん検診を登録中です。※令和2年度分の受付は終了しました。

登録用紙は医療機関にあります。

医療機関受付または市役所健康づくり課に提出してください。

登録期間 令和2年6月1日～令和3年4月9日(消印)まで